

# 早期景気観測調査

**【10-11月期 調査結果概要報告書】**

平成28年12月



**甲府商工会議所**

## ◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成28年11月15日(火)～30日(水)
4. 調査対象： 当所会員151事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 106件
7. 有効回答率： 70.2%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

## ◆結果概要

【10-11月期の動き】

**業況は回復続く。サービス業を除くすべての業種で業況改善。向こう3カ月の先行きも改善の見通し。**

10-11月期の全業種総合のDIは▲19.8（前期比+4.7ポイント）となり、2期連続で改善した。仕入単価DIのみ横ばいの推移となったが、売上DI・採算DI・従業員DIは、それぞれ2期連続で改善。金融貸出しDIも改善に転じている。向こう3ヶ月の先行き業況は、改善する見通し。

業種別では、サービス業を除く業種（製造業・建設業・卸売業・小売業）で業況改善となった。

製造業の業況DIは▲7.7（前期比+7.7ポイント）で、2期連続の改善となった。売上DIは改善し、平成25年8-9月期以来のプラス水準となり、採算DIも5期ぶりに改善に転じた。一方で仕入単価DI・従業員DIは、ともに3期ぶりの悪化。金融貸出しDIについては横ばいとなっている。

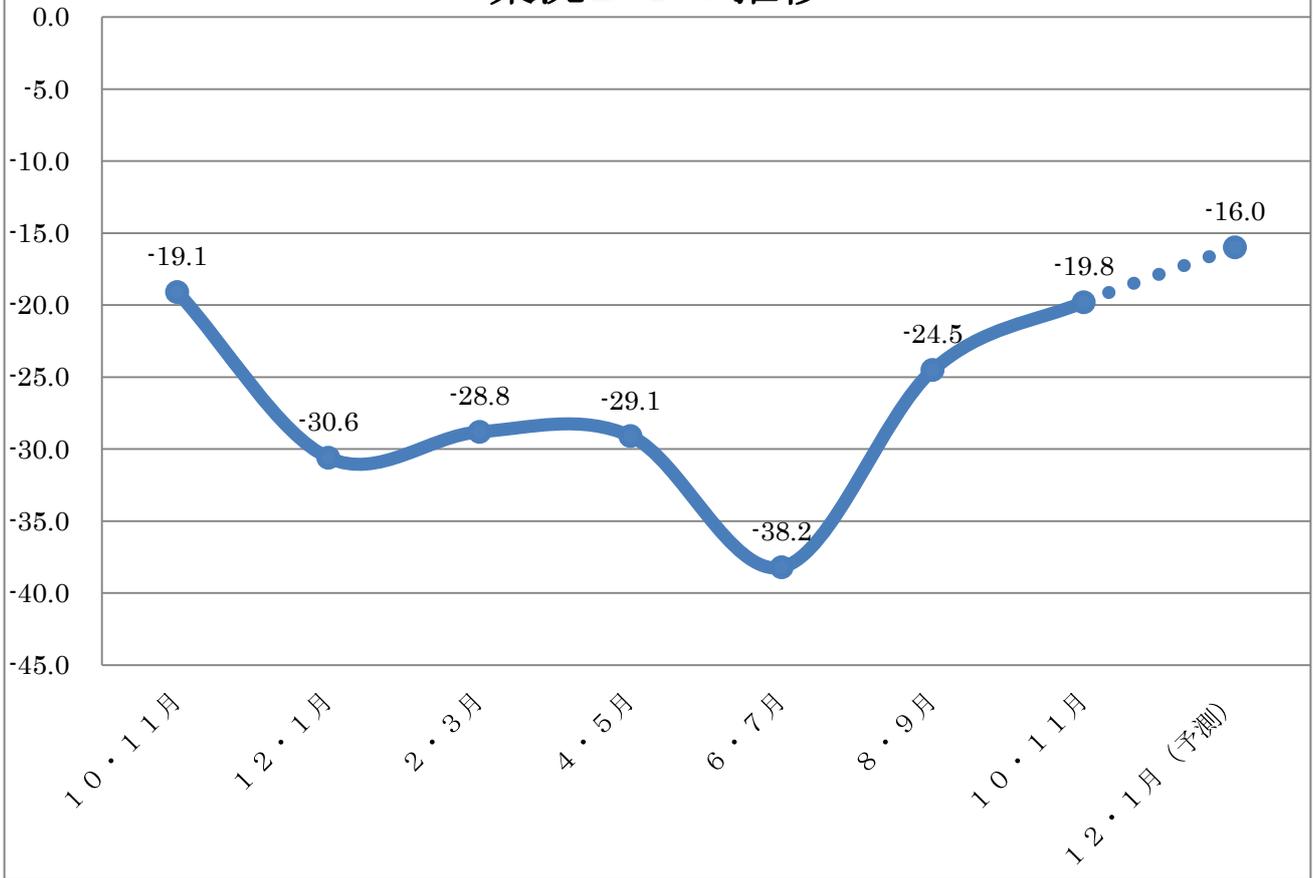
建設業の業況DIは▲5.0（前期比+6.1ポイント）と4期連続の改善となった。売上DI・採算DI・従業員DI・金融貸出しDIがそれぞれ改善。従業員の人手不足感が再び高まっている。唯一、仕入単価DIのみ悪化に転じている。

卸売業の業況DIは▲11.1（前期比+28.9ポイント）と3期ぶりに大幅な改善に転じた。売上DI・採算DI・仕入単価DI・従業員DIがそれぞれ改善に転じ、とりわけ売上DIは32.2ポイント、従業員DIは26.6ポイントの大幅なプラスとなっている。金融貸出しDIは、小幅な悪化となっている。

小売業の業況DIは▲37.0（前期比+5.3ポイント）と2期連続の改善となった。売上DIは悪化、従業員DIはほぼ横ばいの推移。一方で、採算DIは2期連続、仕入単価DIは7期連続の改善となっている。また、金融貸出しDIについても改善に転じている。

サービス業の業況DIは▲40.0（前期比▲22.4ポイント）と大幅なマイナスとなり、3期ぶりに悪化に転じた。売上DI・採算DI・従業員DI・金融貸出しDIがそれぞれ悪化。とりわけ、採算DIは29.1ポイントの大幅なマイナスとなっている。唯一、仕入単価DIのみ改善した。

## 業況D I の推移

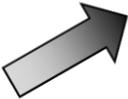


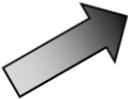
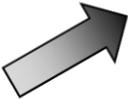
## ◆全業種・業種別詳細

### ※ D I 値 ( 景況判断指数 ) について

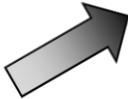
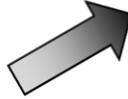
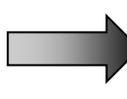
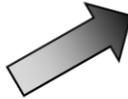
D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

### ◆指標の見方

前回D I に比べて ( 先行は今回実績値に比べて )		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「」(改善)と表示しております。  
 従業員D I は、従業員が不足している場合、「」(改善)と表示しております。

## ◆全業種総合

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲19.8	▲16.0	▲28.3	▲23.6	▲18.9	17.0	0.9

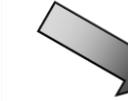
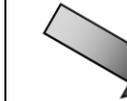
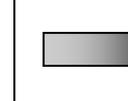
10-11月期の全業種総合の業況D I は、▲19.8 (前期比+4.7ポイント) となり、2期連続の改善となった。

項目別では、売上D I (▲33.0→▲28.3)・採算D I (▲28.3→▲23.6)・従業員D I (13.2→17.0) が、それぞれ2期連続で改善。金融貸出しD I (▲0.9→0.9) も改善に転じている。唯一、仕入単価D I (▲18.9) のみ横ばいの推移となった。

向こう3ヶ月の先行き業況は▲16.0と改善する見通し。

## ◆ 業種別

### 製造業

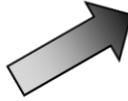
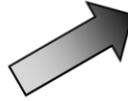
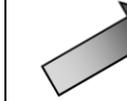
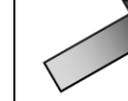
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲7.7	▲11.5	7.7	0.0	▲15.4	7.7	3.8

業況DIは▲7.7（前期比+7.7ポイント）で、2期連続の改善となった。

項目別では、売上DI（0.0→7.7）が2期連続で改善。平成25年8-9月期以来のプラス水準となった。採算DI（▲19.2→0.0）も5期ぶりに改善に転じている。一方で、仕入単価DI（▲3.8→▲15.4）・従業員DI（11.5→7.7）は、ともに3期ぶりに悪化に転じた。金融貸出しDI（3.8）については横ばいとなっている。

向こう3カ月の業況は、▲11.5と悪化する見通し。

### 建設業

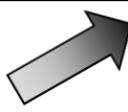
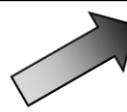
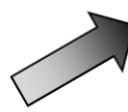
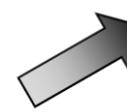
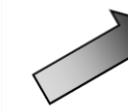
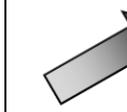
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲5.0	▲25.0	▲35.0	▲25.0	▲30.0	30.0	5.0

業況DIは▲5.0（前期比+6.1ポイント）と4期連続の改善となった。

項目別では、売上DI（▲38.9→▲35.0）・採算DI（▲33.3→▲25.0）・従業員DI（22.2→30.0）・金融貸出しDI（0.0→5.0）がそれぞれ改善。従業員の人手不足感が再び高まっている。唯一、仕入単価DI（▲22.2→▲30.0）のみ悪化に転じている。

向こう3カ月の業況は、▲25.0と大幅に悪化する見通し。

卸売業

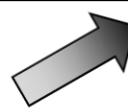
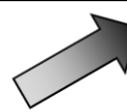
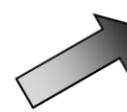
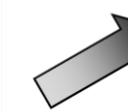
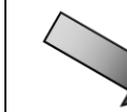
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲11.1	5.6	▲27.8	▲16.7	▲22.2	33.3	5.6

業況DIは▲11.1（前期比+28.9ポイント）と3期ぶりに大幅な改善に転じた。

項目別では、金融貸出しDIを除き、売上DI（▲60.0→▲27.8）・採算DI（▲26.7→▲16.7）・仕入単価DI（▲33.3→▲22.2）・従業員DI（6.7→33.3）がそれぞれ改善に転じた。とりわけ、売上DIは32.2ポイント、従業員DIは26.6ポイントの大幅なプラスとなっている。金融貸出しDI（6.7→5.6）は、小幅な悪化となっている。

向こう3カ月の業況は、5.6と改善する見通し。

小売業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲37.0	▲14.8	▲55.6	▲37.0	▲3.7	11.1	▲3.7

業況DIは▲37.0（前期比+5.3ポイント）と2期連続の改善となった。

項目別では、売上DI（▲53.8→▲55.6）は悪化、従業員DI（11.5→11.1）はほぼ横ばいの推移となった。一方で、採算DI（▲46.2→▲37.0）は2期連続、仕入単価DI（▲7.7→▲3.7）は7期連続の改善となっている。また、金融貸出しDI（▲7.7→▲3.7）についても改善に転じている。

向こう3カ月の業況は、▲14.8と大幅に改善する見通し。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲40.0	▲40.0	▲33.3	▲46.7	▲33.3	6.7	▲6.7

業況D Iは▲40.0（前期比▲22.4ポイント）と大幅なマイナスとなり、3期ぶりに悪化に転じた。

項目別では、仕入単価D Iを除き、売上D I（▲29.4→▲33.3）・採算D I（▲17.6→▲46.7）・従業員D I（17.6→6.7）・金融貸出しD I（▲5.9→▲6.7）がそれぞれ悪化。とりわけ、採算D Iは29.1ポイントの大幅なマイナスとなっている。唯一、仕入単価D I（▲47.1→▲33.3）のみ改善した。

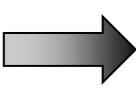
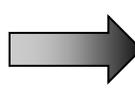
向こう3ヶ月の業況は、▲40.0と横ばいとなる見通し。

◆ 業種別詳細

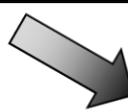
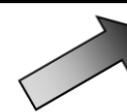
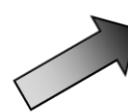
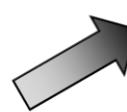
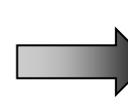
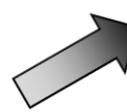
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

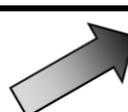
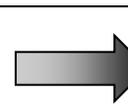
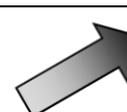
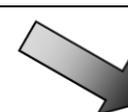
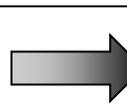
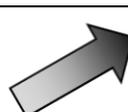
製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

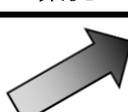
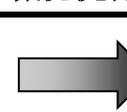
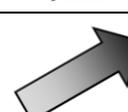
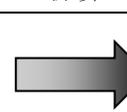
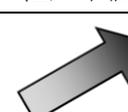
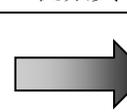
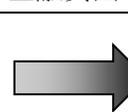
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

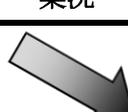
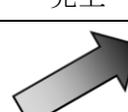
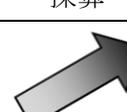
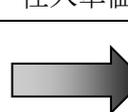
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

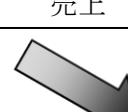
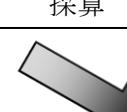
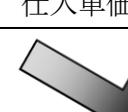
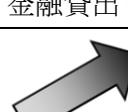
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

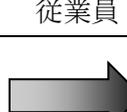
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

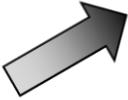
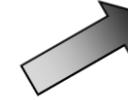
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

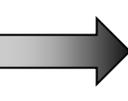
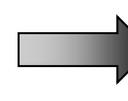
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

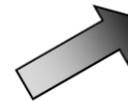
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

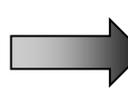
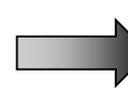
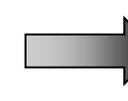
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

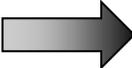
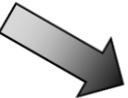
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

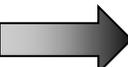
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

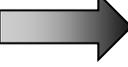
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

## ➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

### 【製造業】

#### 製造業（食品）

- おせち受注好調もエルニーニョ現象の為アジアの養殖エゾアワビの価格高騰。売上増加。採算不変。
- 大麦の機能性が高く評価され、精麦業界は過去に類を見ないほど活況。円高も相まって仕入単価（輸入）下落で業績上昇。ブームを如何に定着させられるかが今後の課題。
- 今年も繁忙期となりました。酒造りは昨年よりも増石となり、来年へ向け良い方向になるよう期待が高まっています。最大の需要月12月の売上は昨年を上回るよう、特定名称酒だけでなく、他の製品にも力を入れていきます。

#### 製造業（家具）

- アメリカ大統領交代が日本経済にどのような影響を及ぼすか判断がつかないので、今期の業況判断は慎重にしなければと考えています。

#### 製造業（工業製品）

- 新規事業の起ち上げを現在行っています。既存事業の領域は減少。2020年まで3年となり、その後の下落対応を行っています。その7年後はリニア。山梨経済は一気に変わります。製造業者の高齢化、若者の採用ができない状況。景気対策も必要ですが、産業創造が必要。
- 米国、アジア地域での出来事等により、先行きの判断がさらに難しい。設計から組み立てまで一貫した受注形態など、難易度の高い仕事が増加する傾向がある。設計者や技術者の新規採用が不足すると思われる。
- 売上高の6割以上が海外取引になっており、為替で業績は大きく左右されています。直近、中国スマホ向けへの受注増加、為替は円安に動いているため、業績は好転してきています。

#### 製造業（宝飾）

- 円安の影響があり仕入れコストが上昇。今後の為替相場を見守る。

### 【建設業】

#### 建設業（建築）

- 技術者不足。
- 大手の下請けのお客様の大型材料の注文が入っているので、多少良くなっております。
- 建設業界においては、国の財政政策による上半期80%以上の公共事業発注が実行され、9月の発注がなされたが、絶対量の不足で各企業とも前年度受注より大幅な受注減となるのではないかと。経済対策で二次補正予算が編成され実施されるが、当初及び補正予算を合わせても、絶対量は明らかに不足している。前期状況を打破しなければ産業の前途は暗いと考える。

## 建設業（鉄鋼）

- ・鉄鉱石、石炭価格高騰により、仕入鋼板が12月より上がる見通し。労務単価は不変。

## 【卸売業】

### 卸売業（その他）

- ・円高による貢献。
- ・消費の減少、原価の上昇、人手不足、競争激化等、先行きには不安要素が山積。

## 【小売業】

### 小売業（事務用品）

- ・品物が動かない

### 小売業（趣味・日用品）

- ・12月までは昨年のプレミアム付き商品券の影響があると思います。

### 小売業（家電）

- ・努力しても一向に良くなりません。そろそろ廃業にすることも考えています。
- ・10月の売上は今期で一番良く、同時にメーカーの協賛によるサービスの拡大。仕入額の抑制があり、利益率が高い月となりました。パート社員(1名)の募集もハローワークにて採用決定があり、人材確保が予定通り出来たのが幸いでした。

## 【サービス業】

### サービス業（ホテル・旅館）

- ・野菜が高すぎる！！
- ・昨年の10月頃は南アルプスに登る外国人も来館しましたが、今年は天候の為か全然おらず、一般客も減少してしまいました。例年土曜日にはほぼ満室になるのですが、それもなかったです。

### サービス業（観光）

- ・前回より多少持ち直しているが、仕入単価上昇での利益減は否めず。
- ・バスの団体客が少ない。
- ・米国大統領選後、株価、為替の上昇環境下にあります。原油価格の値動きについて引き続き注視していきたいと考えております。

### サービス業（飲食その他）

- ・10月後半～11月前半は多少下降気味であったが、後半は持ち直した。12月・1月は忘新年会により売上増加は見込まれるが、前年同期とはほぼ同じに推移すると思われる。

以上